

目的

『地域において、生涯にわたって子どもたちがスポーツ・文化芸術に親しめる環境を構築する』
『教職員の働き方改革を推進し、学校教育の質の向上を図る』



現状と課題

- ・生徒数の減少により、学校単独での活動や大会参加が困難
- ・選択肢の減少による部活動加入率の減少
- ・eスポーツ、アーバンスポーツなど新たな分野の拡大
- ・運動部顧問の指導経験不足（約6割の教員が、担当競技未経験）
- ・休日の指導や大会の引率等による教員の負担や時間外勤務の増加



目指す姿

- ・多様な選択肢からニーズに応じて選択できるスポーツ・文化芸術活動環境の実現（一定程度の活動・体験の保障）
- ・安全・安心な活動と専門性の高い活動の実現
- ・地域における多世代での活動の実現
- ・生涯にわたるスポーツ・文化芸術活動への関わりを通して、豊かな人生を送ることができる社会の実現



R6年度以降に実施を検討している主な事業

◆部活動指導員任用事業

地域の指導者確保につなげるため、部活動指導員を拡充

◆地域スポーツ・文化クラブ活動への支援に係る事業

- ・地域課題について、実証研究を進め環境整備を推進(市町村)
- ・地域協議会や運営団体等の立ち上げ支援(県)
- ・広域での指導者リストの作成(県) など

◆地域クラブ活動体制整備への支援に係る事業

- ・地域協議会・勉強会等、コーディネーター、実技指導者研修会、移行に向けた説明会等への支援(県)



県と市町村の主な役割

■県の役割

- ・「中学生期のスポーツ・文化芸術活動指針」を策定し、地域クラブ活動を位置づけ
- ・「地域クラブ活動推進ガイドライン」を作成し、環境整備の進め方を提示
- ・指導者リスト等の作成により指導者の量を確保、研修会等により質を担保
- ・地域や企業への広報、指導者や応援企業の募集
- ・広域連携支援

■市町村の役割

- ・国や県のガイドラインをもとに市町村の推進計画を作成
- ・推進計画に沿った地域クラブ活動の環境整備
- ・地域指導者の掘り起こしや育成

スケジュール（案）

年度	R4まで	R5	R6	R7	R8	R9以降
	県協議会の設置 実践研究の普及	・指針・方針の改定 →地域クラブ活動の考え方を提示 ・地域クラブ活動推進ガイドラインを作成 →環境整備の進め方を提示	実証事業の検証と普及	平日の地域クラブ活動への移行状況等についての調査・検証	休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行の目途（予定） 平日の移行方針の提示	平日の学校部活動の地域クラブ活動への移行推進
			指導者リストの作成 地域や企業への広報	人材バンクの創設・運用 企業や大学との連携体制の構築	ボランティアリストの作成	